2025年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧<教育学科>

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
社会学	2	医療機関にて社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、社会学に関連する知識や視点等についての授業を行う。
経済学	2	NPOや一般企業での勤務経験、また現在、市民セクターと企業セクターの協働の実践の構築の経験が10年ある。それらの実務経験を活かして、社会福祉の学びが一般企業においてどのように生かされるのかを実践の紹介を交えて講義をおこなう。
日本史	2	国公立小学校、大阪府教育センターにおいて社会科学習を担当した経験があり、その実務経験を活かして日本の歴史に関わる知識を広げ、歴史の見方・考え方についての理解を深める。
体育実技 (A)	1	石川：高等専門学校教員(4年半)、西里：高校・大学トレーナー(10年)
体育実技 (B)	1	石川：高等専門学校教員(4年半)、西里：高校・大学トレーナー(10年)
体育実技 (C)	1	石川：高等専門学校教員(4年半)、西里：高校・大学トレーナー(10年)
オーラルコミュニケーション	2	兵庫県内の公立と私立の中学校・中等教育学校・高等学校において、教諭および主幹教諭として通算40年以上業務に従事した経験がある。この授業では、その実務経験を活かして、実践的な英語力を修得するための授業を行う。
総合教養	2	(福祉創造学科 加藤友野) 総合病院などにおいて看護師として23年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして終末期に関する法的根拠、心身の変化などの知識、支援方法についての授業を行う。 (福祉栄養学科 伯井朋子) 保健所や健康増進施設等で30年公衆栄養業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして「栄養と健康」についての授業を行う。 (リハビリテーション学科 重森健太) 地域理学療法分野で25年。
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	大阪府立箕面支援学校(肢体不自由校)において自立活動教諭として5年間、主に自立活動の指導業務(主任)に従事した経験がある。その後、大阪府立交野養護学校教頭職を2年間、大阪府教育センター教育課題研究室主任指導主事を2年間、引き続き特別支援教育研究室にて首席指導主事(室長)を3年間を経た後、大阪府立交野養護学校校長(肢体不自由)、大阪府立寝屋川支援学校校長(知的障害)、大阪府立堺支援学校校長(肢体不自由)の3校をそれぞれ2年間延べ6年間の従事経験がある。その実務経験や肢体不自由児者の臨床及び指導経験を活かして肢体不自由児者の心理・生理・病理についての授業を行う。
幼保小連携	2	幼稚園において幼稚園教諭として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして指導案や模擬保育など実践的な授業を行う。 小学校において教諭として従事した経験があり、その実務経験を生かして実践的な指導を行う。 学校教育現場での実務経験を生かして、幼保小連携についての授業を行う。
レクリエーション論	2	青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年に、また子育て支援の現場でレクリエーション指導を行うなど14年間従事し、現在もスーパーバイザーとして様々な法人の事業に携わっている実務経験を通して、対象に応じたレクリエーション活動について必要な技術や具体的な実践方法についての授業を行う。
人格心理学	2	精神科病院および総合病院の神経精神科で公認心理師・臨床心理士として40年近く心理臨床活動を行ってきた。この実務経験を生かした授業を行う。
研究演習Ⅰ(教E)	2	小学校の教諭として25年業務に従事した経験や特別支援教育コーディネーターとしての経験をかして、学校教育における特別支援教育の現状や課題、動向等について具体的に取り上げる。
研究演習Ⅱ(教E)	2	小学校の教諭として25年業務に従事した経験や特別支援教育コーディネーターとしての経験をかして、学校教育における特別支援教育の現状や課題、動向等について具体的に取り上げる。
研究演習Ⅲ(教A)	2	幼稚園において教諭として20年間幼児教育に従事した経験があり、その実務経験を活かして教材研究や保育実践に関する授業を行う。
研究演習Ⅲ(教B)	2	教育委員会において、障害のある児童生徒の教育相談・個別指導の業務(教育相談機関のスーパーバイザー6年、巡回教育相談8年、就学指導委員会委員14年、教育支援委員会委員11年)に従事した経験があり、その実務経験を活かして特別支援教育についての授業を行う。
研究演習Ⅲ(教H)	2	公立小学校、国立大学附属小学校において教諭として17年業務に従事した経験があり、その実務経験をもとに教育現場の実状を踏まえた授業を行う。

研究演習Ⅳ（教A）	2	幼稚園において教諭として20年間幼児教育に従事した経験があり、その専門性を活かして研究指導を行う。
研究演習Ⅳ（教B）	2	教育委員会において、障害のある児童生徒の教育相談・個別指導の業務（教育相談機関のスーパーバイザー6年、巡回教育相談8年、就学指導委員会委員14年、教育支援委員会委員11年）に従事した経験があり、その実務経験を活かして特別支援教育についての授業を行う。
研究演習Ⅳ（教H）	2	公立小学校、国立大学附属小学校において教諭として17年業務に従事した経験があり、その実務経験をもとに教育現場の実状を踏まえた授業を行う。
障害者福祉論（教）	2	保健医療機関においてソーシャルワーカーとして12年間従事した実務経験を活かした講義を実施する。
社会福祉	2	実務経験として、市区町村要保護児童対策地域協議会 調整主担当者等の子ども虐待対応業務を13年、児童発達支援センターにて、主任相談支援専門員や訪問支援員を経て、施設長を計5年経験している。これらの実務経験を活かして、様々な課題を抱える子どもや家庭の支援について講義・演習を行う。
子どもの健康と安全	1	看護師として一般の小児科病棟に約3年、重症心身障害児施設に約17年勤務した後、滋賀県庁子ども子育て応援センターで社会福祉士として約4年間相談援助業務を行った。医療的、社会福祉的観点から子どもへの支援を総合的に行ってきた経験を生かし、「子どもにとって健康とはなにか」というテーマに沿って授業を展開する。
保育の計画と評価	2	幼稚園において教諭として20年間の実務経験があり、保育現場における実践に対応可能な授業を行う。
保育内容総論	2	幼稚園において教諭として20年間の実務経験があり、保育現場における実践に対応可能な授業を行う。
保育内容演習（言葉）A	2	幼稚園教諭として20年間業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして指導案や模擬保育など実践的な授業を行う。
保育内容演習（言葉）B	2	幼稚園教諭として20年間業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして指導案や模擬保育など実践的な授業を行う。
子どもと言葉	2	幼稚園において教諭として20年間の実務経験があり、保育現場における実践に対応可能な授業を行う。
特別支援教育論	2	小学校において、特別支援教育コーディネーター及び通級による指導の担当者としての26年業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして、教育的なニーズのある児童のアセスメントと支援方法、校内連携についての授業を行う。
障害のアセスメント	2	特別支援学校において教諭として22年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして知的障害や発達障害の心理アセスメントおよび支援のあり方などについて授業を行う。
学習障害・注意欠陥多動性障害概論	2	特別支援学校において発達障害のある生徒担当の教諭として22年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、発達障害の心理学的特徴や学習面および心理面の支援などについて授業を行う。
学校経営論	2	学校現場において、教諭並びに管理職として従事した35年の実務経験を活かして、現場における今日的課題をふまえながら授業を行う。
教育課程論（教）	2	教諭として20年間勤務した経験があり、現場の実態を踏まえた授業を実施する。
消費者教育学	2	実務経験（35年）を活かして、学校現場で取り扱われている消費者教育とその実態に則した授業を行う。
国語（小）	2	公立小学校、国立大学附属小学校において教諭として17年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業の実践についての授業を行う。
社会（小）	2	国公立小学校、大阪府教育委員会教育センターに勤務した経験があり、その実務経験を活かして子どもや教材について理解を深め、実践的指導力の育成に向けた授業を行う。
算数（小）	2	公立小学校での10年間の教諭経験を活かして実践的な背景を伴った授業を行う。
生活（小）	2	担当教員は小学校教員として25年間勤務していた経験がある。 勤務経験を活かし、生活科の具体的な事例を交えながら実務の視点も積極的に取り入れた授業を実施する。

図画工作（小） A	2	実務経験あり：学校法人智辯学園和歌山小学校において図画工作専科の講師として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして図画工作科の内容や指導法についての授業を行う。
図画工作（小） B	2	実務経験あり：学校法人智辯学園和歌山小学校において図画工作専科の講師として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして図画工作科の内容や指導法についての授業を行う。
家庭（小）	2	実務経験（35年）を活かして、現場における今日的課題をふまえながら授業を行う。
体育（小）	2	主として小学校において教諭、管理職として勤務した経験（37年間）があり、その実務経験を活かして、子どもたちの実態を踏まえてより具体的な授業を行う。
初等英語	2	兵庫県内の公立と私立の中学校・中等教育学校・高等学校において、教諭および主幹教諭として通算40年以上業務に従事した経験がある。この授業では、その実務経験を活かして、小学校段階で定着させるべき初等英語の内容とその指導方法についての授業を行う。
初等教科教育法（国語） A	2	公立小学校、国立大学附属小学校において教諭として17年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして実践的指導についての授業を行う。
初等教科教育法（国語） B	2	公立小学校、国立大学附属小学校において教諭として17年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして実践的指導についての授業を行う。
初等教科教育法（社会） A	2	国公立小学校、教育委員会教育センターの勤務経験があり、その実務経験を活かして、教材理解・児童理解を深め、学習指導案の作成・模擬授業の実施を通して指導力を高める授業を行う。
初等教科教育法（社会） B	2	国公立小学校、教育委員会教育センターの勤務経験があり、その実務経験を活かして、教材理解・児童理解を深め、学習指導案の作成・模擬授業の実施を通して指導力を高める授業を行う。
初等教科教育法（算数） A	2	公立小学校での10年間の教諭経験を活かし、実践的な背景を伴った授業を行う。
初等教科教育法（算数） B	2	公立小学校での10年間の教諭経験を活かし、実践的な背景を伴った授業を行う。
初等教科教育法（生活） A	2	担当教員は小学校教員として25年間勤務していた経験がある。 勤務経験を活かし、生活科の具体的な事例を交えながら実務の視点も積極的に取り入れた授業を実施する。
初等教科教育法（生活） B	2	担当教員は小学校教員として25年間勤務していた経験がある。 勤務経験を活かし、生活科の具体的な事例を交えながら実務の視点も積極的に取り入れた授業を実施する。
初等教科教育法（図画工作） A	2	実務経験あり：学校法人智辯学園和歌山小学校において図画工作専科の講師として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして図画工作科の内容や指導法についての授業を行う。
初等教科教育法（図画工作） B	2	実務経験あり：学校法人智辯学園和歌山小学校において図画工作専科の講師として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして図画工作科の内容や指導法についての授業を行う。
初等教科教育法（家庭） A	2	実務経験（35年）を活かして、授業づくりにおけるポイント等をおさえた授業を行う。
初等教科教育法（家庭） B	2	実務経験（35年）を活かして、授業づくりにおけるポイント等をおさえた授業を行う。
初等教科教育法（体育）	2	主として小学校での学級担任、管理職として従事した経験（37年間）があり、その実務経験を活かして、子どもたちや学校現場の実態に即した授業を行う。
初等教科教育法（英語） A	2	兵庫県内の公立と私立の中学校・中等教育学校・高等学校において、教諭および主幹教諭として通算40年以上業務に従事した経験がある。この授業では、その実務経験を活かして、小学校段階で定着させるべき英語力とその指導方法についての授業を行う。
初等教科教育法（英語） B	2	兵庫県内の公立と私立の中学校・中等教育学校・高等学校において、教諭および主幹教諭として通算40年以上業務に従事した経験がある。この授業では、その実務経験を活かして、小学校段階で定着させるべき英語力とその指導方法についての授業を行う。
知的障害者教育論	2	特別支援学校において、障害のある児童生徒の教育に15年間従事した経験があり、その実務経験を生かして知的障害教育について指導を行う。

言語障害教育概論	2	言語聴覚士国家資格を有し、言語発達障害領域での実務経験を有する教員（工藤：20年、不破：17年）が講義を担当する。
発達障害児の指導法	2	教員の実務経験：（島田）教育委員会において、障害のある児童生徒の教育相談・個別指導の業務（教育相談機関のスーパーバイザー6年、巡回教育相談8年、就学指導委員会委員14年、教育支援委員会委員11年）に従事した経験があり、その実務経験を活かして特別支援教育についての授業を行う。 （山下）公立病院の心理判定員（4年）、公立研究所の研究員（5年）、教育委員会の巡回相談員（10年）等の業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして発達障害児の心理・生理・病理についての指導を行う。 （宮本）小学校の通常の学級、特別支援学級、通級指導教室で特別支援教育の業務（26年間）、市教育委員会の巡回相談の業務（7年間）に従事した経験があり、その実務経験を活かして、幼児期から児童期にかけての発達障害児のアセスメントや心理的支援についての授業を行う。
特別支援教育実習	3	特別支援学校において各担当教員が数年から最長22年職務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、児童や学校の実態を踏まえた授業を行う。
教育実習（幼稚園）	5	幼稚園において教諭として20年間の実務経験があり、幼児の実態を踏まえた授業を行う。
教育実習（小学校）	5	主として小学校において職務に従事した経験（担当者それぞれの実務経験年数は異なる）があり、その実務経験を活かして、児童や学校の実態を踏まえた授業を行う。
子どもの保健	2	看護師として一般の小児科病棟に約3年、重症心身障害児施設に約17年勤務した後、滋賀県子ども子育て応援センターで社会福祉士として約4年間相談援助業務を行った。医療的、社会福祉的観点から子どもへの支援を総合的に行ってきた経験を生かし、「子どもにとって健康とはなにか」というテーマに沿って授業を展開する。
子どもの食と栄養	2	実務経験（35年）を活かして、子どもの食に係る実態に則した授業を行う。
障害児保育	2	幼稚園において教諭として20年間の実務経験があり、保育現場の事例検討など実践的な授業を行う。
社会的養護Ⅰ	2	実務経験として、市区町村要保護児童対策地域協議会 調整主担当者等の子ども虐待対応業務を13年、児童発達支援センターにて、主任相談支援専門員や訪問支援員を経て、施設長を計5年経験している。これらの実務経験を活かして、様々な課題を抱える子どもや家庭の支援について講義・演習を行う。
社会的養護Ⅱ	1	実務経験として、市区町村要保護児童対策地域協議会 調整主担当者等の子ども虐待対応業務を13年、児童発達支援センターにて、主任相談支援専門員や訪問支援員を経て、施設長を計5年経験している。これらの実務経験を活かして、様々な課題を抱える子どもや家庭の支援について講義・演習を行う。
子ども家庭支援論（教）	2	実務経験として、市区町村要保護児童対策地域協議会 調整主担当者等の子ども虐待対応業務を13年、児童発達支援センターにて、主任相談支援専門員や訪問支援員を経て、施設長を計5年経験している。これらの実務経験を活かして、様々な課題を抱える子どもや家庭の支援について講義・演習を行う。
特別支援教育の基礎	2	教育委員会において、障害のある児童生徒の教育相談・個別指導の業務（教育相談機関のスーパーバイザー6年、巡回教育相談8年、就学指導委員会委員14年、教育支援委員会委員11年）に従事した経験があり、その実務経験を活かして特別支援教育についての授業を行う。
知的障害者の心理	2	特別支援学校において知的障害生徒担当の教諭として22年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、知的障害の心理学的特徴や心理面の支援などについて授業を行う。
肢体不自由教育論	2	特別支援学校において、障害のある児童生徒の教育に15年間従事した経験があり、その実務経験を活かして肢体不自由教育について指導を行う。
視覚障害教育総論	2	視覚支援学校および病弱支援学校の教諭
聴覚障害教育総論	2	聴覚特別支援学校教員(14年間)、言語聴覚士(24年間)、学校心理士スーパーバイザー(12年間) 聴覚特別支援学校(聾学校)に勤務している時に幼稚園・小学部・中学部の担任を経験すると共に自立活動専科、小学部主事、寄宿舎主任を担当した経験を活かして、幼児児童生徒の教育支援の実践上の課題や支援方法を具体的に取り上げながら、講義する。
保健体育（C）	1	主として小学校において、教諭及び管理職として業務に従事した経験（37年間）があり、その実務経験を活かして、学校現場や児童・生徒の実態や様子も踏まえながら、より具体的な授業を行う。
教育福祉論	1	・自治体委託の子育て支援事業において子育て支援コーディネーター及びFAとして、10年以上事業に携わっている。その実務経験を活かして様々な課題を抱える子どもや家庭の支援について授業・演習を行う。